

## ILUSION 瀬木貴将・ヤヒロトモヒロ with スーパーフレンズ

世界で活躍するミュージシャンを一同に招く音楽イベント



ライブを終えアンコールに答えるミュージシャン達

- 日時：1995年12月21日(木) 20:00 開演
- 会場：イルパラッツィオホテル・クロッシングホール
- 主催：株式会社エイチ・アイ・エス 画廊香月
- 後援：CROSS FM 株ガリヤ
- 協賛：シグナ保険 株式会社 JCB
- 助成：国際交流基金 ■出演：瀬木貴将(サンポーニャ&ケーナ) ヤヒロトモヒロ(パーカッション&ドラム) ペドロ・アスナル (ベース&ヴォイス)<アルゼンチン> トニーニョ・オルタ (ギター&ヴォイス)<ブラジル> ドナート・エスピノーサ(チャランゴ)<ボリビア> ウーゴ・ファトルーソ(ピアノ&キーボード)<ウルグアイ>

### 解説

南米の民族楽器、サンポーニャとケーナの奏者瀬木貴将と天才パーカッショニストヤヒロトモヒロがよりすぐりの音楽仲間を率いて全国ツアーを行ってきた九州ツアーの一環。

瀬木は少年の頃から南米の民族音楽に親しみ、85年に音楽修行のためサンポーニャの本場であるボリビアへ単身で渡る。以後、地元のライブ活動などが認められ、同国で4枚ものCD

をリリースする。日本でも初のソロアルバム「VIENTO-風の道」を発表。今回のツアーはセカンドアルバム「ILLUSION — 水のイルシオン」に合わせて企画された。

「フォルクローレをバックボーンに日本人の感性を反映させたオリジナルを生み出す」というのが瀬木たちの音楽活動の姿勢。ツアーメンバーもブラジル、アルゼンチン、ボリビア、ウルグアイなど南米から伝統音楽の枠を越えて、ワールドワイドに活躍中のミュージシャンが集まった。これも、ミュージシャン達の独自のネットワークから広がったためにこれだけのメンバーが勢ぞろいした、豪華なコンサートを開催できた。

「このメンバーによるプロジェクトは7年前から構想し続けていた。最もやりたかったことで自分達自身が興奮している」と瀬木は語る。

サンポーニャの温かい音色と切ないメロディーに、南米特有の複雑なリズムが組み合わせさり、フォルクローレを原点にしながらかジャズやポップスの要素が融合した独創的なサウンドが展開された。

これだけのメンバーが揃ったコンサートとなると企業の援助が必要となる。当時、旅行業界で画期的な成長を遂げていた「株エイチ・アイ・エス」の文化事業と一致したからこそ達成できた。そして、より多くの人に集まってもらえた。

以後、株エイチ・アイ・エスは定期的にこうした文化事業を開催している。